

3月17日（木）15時 第5回緊急対策会議報告

報告事項

1. 前回（3月16日）以降の確認事項

【※赤字は追記部分です。】

3月16日（水）19:25

幼稚園阿部教頭から電話連絡

(1) 園児 143 名（190 名中）の無事確認、但し、自宅流失、自宅浸水、父親の会社が流された、などの被害はあり。

(2) 教職員（17 名：専任及び非専任）の無事確認、但し、個人情報により削除
の自宅流失（兄のもとへ）、個人情報により削除 自宅流失。

3月16日（水）21:24

原口キリスト教学科長からのメール（柴田先生宛）

「青山学院大学宗教センターの東方敬信先生と同志社大学キリスト教文化センター長から、学生を引き連れて被災地でボランティア活動の手伝いをしたいという申出がありました。

学内に受け皿になるような部署や、学生の組織・グループはあるのでしょうか？」

3月17日（木）13:00 頃

平河内園長から連絡：園児 190 名 全員の無事確認

3月17日（木）13:40 頃 阿部教頭から

190 名 全員の無事を確認

以下の内容のお知らせを報道各社、HP へ。

「平成 23 年度入園の保護者の皆様へ

3 月 25 日に予定の一日入園は中止します。この日に予定の用品お渡しと、入園式については 4 月に入ってからお知らせいたします。」→連絡・掲載済み

3月17日（木）朝の打ち合わせ内容（工学部とはテレビ会議）

- ・土樋キャンパス南門は、通用門のみ教職員の出勤時に開門し、9 時 30 分に閉門する。
- ・土樋キャンパス正門前テントは本日撤去する。
- ・土樋キャンパス 7 号館屋上煙突撤去工事は、18 日まで行われる。
- ・16 日の学生の宿泊者は、9 名（男子 5 名：女子 4 名。）。同学生は、17 日も宿泊予定。
- ・学生の安否確認は、これまで 5,700 件（重複除く）の連絡が来ている。メールボックスに送信されているメールのうち、未処理の約 3,000 件のメールを本日処理し、全体のものとの合わせる予定。
- ・大学ホームページの安否確認専用ページに、学生自身が情報を登録するアドレスと、問い合わせをする連絡先とを切り分ける。本日の早いうちに HP の更新をする。
→すでに対応済み。学生の安否についての問い合わせは総務課で対応する。
- ・大学ホームページにすべて情報を集約し、安否確認状況を取りまとめる予定。工学部独

自の安否確認情報を大学で一本化するため、工学部で把握している情報を土樋へ提供してほしい。

- ・公式窓口はそれぞれ以下のとおり。回答する際は、統一された内容で答える（例：新学期は5月連休明けになること。公式行事（卒業式、入学式、オリエンテーション）は中止あるいは延期となること、など）。
 1. 報道機関、一般問い合わせ → 災害対策本部
 2. 受験生、保護者対応 → 入試課
 3. 在学生（大学院含む）、保護者対応 → 学生課、教務課
 4. 安否確認の問い合わせ → 総務課
- ・本日、土樋キャンパス施設の点検に、竹中工務店の3名が来学予定。
- ・来週以降の職員の出勤については、17日15時の災害対策委員会終了後に課長職で集まり、検討する。

○多賀城市からの要請

「16日に多賀城市役所上水道部管理課より、給水車支援に関する緊急ボランティアの要請があった。同部が水道管の復旧に着手することにより、人員が足りなくなることが考えられるため、工学部で判断し、受け入れることとした。現在、12名の学生から申し出があり、彼らを市役所に紹介する。（全体で20名ほどを募集）。」

→ 工学部了承。

【窓口】多賀城市上水道部管理課 **個人情報により削除**

- ・17日9時現在、6名の職員が応援に来ている。多賀城キャンパス各係の支援に3名、ほか3名は避難所の支援にあたる。⇒全員、多賀城キャンパス近隣の職員であり、次週以降も多賀城での勤務を希望している。
- ・多賀城キャンパスの宿泊者は、17日0時現在で約150名（うち学生9名）。また、多賀城市文化センターに10名の学生が避難している。
- ・多賀城市より食料250名分、灯油18Lタンク7缶が配給され、仮設トイレ6基の汲み取りをしてもらった。
- ・建物の被災状況の調査を、遠藤工学部長と学長室長とが相談し、環境建設工学科教員を中心に建物の被災状況の調査するチームを組織することとしていたが、本日からその作業にあたる。

○お見舞い電話 広島修道大学 市川太一学長から、
震災のお見舞いと学生（含む留学生）の受け入れの用意があるので検討して欲しい、とのこと。

2. 各キャンパス・各学校・各部署より

(1) 泉キャンパス

- ・本日から教職員が出勤し、キャンパス内の建物等に各種掲示を行った。また、情報処理センターの復旧を行った。なお、泉キャンパスの被災状況を調査し、その結果が提出されている。

(2) 多賀城キャンパス

・安否確認結果（17日9時現在）

- ・学部学生：2,097名中698名確認済み
- ・大学院生：62名中32名確認済み

※すでに土樋キャンパスに情報を提供し、全体の数に集計中である。

- ・研究生：1名確認済み
- ・教員1名、職員1名の安否確認ができていない。
- ・建物の被災状況調査チームは、代表者の吉田望先生を中心に、7名の教員で調査計画を検討中である。
- ・避難所については、現在約80名が滞在している。また、給水車が来たため、約50名が来学した。

(3) 各学校（中高、榴ヶ岡高校、幼稚園）

- ・中高は17日に電気が通じるようになった。
- ・榴ヶ岡は建物の被災状況を調査中である。ライフラインはすべて未開通。

(4) 学務部

- ・証明書の発行については、入校許可が出ないと発行できないため、問い合わせがあった場合は、その旨を連絡する。

(5) 学生部

- ・土樋キャンパスの避難所は、17日現在女性が2名増えた（合計11名：男子5名：女子7名）。生協から炊き出しを受けているため、安定した状況が続いている。
- ・安否確認は、約5,700名が確認済みである。まだ約3,000通のメールが未開封であり、学生側でも1,000件メールを受信している。作業が進めば約7～8,000件まで集計できると考えられる。これ以外の学生は、電話確認等が必要になるだろう。
- ・各ゼミの学生などの情報も集めていただき、学生部や公式のメールアドレスに情報提供してほしい。

(6) 入試部

- ・さまざまな問い合わせがきているが、慎重に対応する。場合によっては、入試部長の判断で回答する。
- ・「入学手続き完了者の安否確認」について、現在の安否確認とは別に行う必要はあると考えている。

(7) 施設部

- ・17日に多賀城・泉岡キャンパスの建物の被災状況の調査を行った。施設部で各キャンパスに対して建物ごとに指示を出しているが、万が一に備えて、この指示に従ってほしい。

(8) 法人事務局

- ・学生への対応は始まっているが、教職員の罹災者への対応策について、具体的に見当していきたい。

(9) その他

1. 広報部

- ・プレスリリース等の情報は、滞りなく提供している。
- ・本学の情報をインターネットで検索する際、検索キーワードによっては必要な情報がヒットしない場合がある。現在、「大震災」という語句を使っているが、より簡易なキーワードにしたい。
→広報部で対応を検討する。

2. 国際交流部

- ・本日新たに8名の留学生の安否が確認され、合計で27名中24名の安否が確認された。
- ・5月の夏期講座・30周年記念行事は、開講が不可能であると判断し、平成23年度は中止とすることが了承された。

3. 情報システム部

- ・17日現在、土樋キャンパスのメール、統合事務システム、ネットワークは暫定的に復帰し、サーバーも安定稼働している。今後の対応のために、1号館4階事務室の鍵、8号館1階の情報処理センターの鍵を使用したい。
→鍵の使用について、施設部から警備室に連絡する。
- ・サーバー室の湿度管理について、17日・18日に泊り込む職員が検討を進めるが、来週からは情報システム部で対応できるものと思われる。

4. その他

- ・ホームページ掲載中の教職課程関係の情報について、日程の誤りがあったので訂正する。
- ・多賀城キャンパスに出勤している教職員、宿泊者の食事はどうなっているのか。
→大学生協から提供してもらっている。
- ・多賀城キャンパスへの運送手段が確立すれば、炊き出し（おにぎりやカレー、お弁当など）を土樋から運送できる。
→ぜひお願いしたい。夕食は宿直者（7名）のみでかまわない。
- ・輸送手段は、別途協議する。

協議事項

1. 新司法試験への会場提供について

- ・本試験及び予備試験含め、平成23年度は会場提供しないこととする。

2. ホームページを確認できない教職員・学生等への対応について

- ・当該教職員・学生等への情報伝達について、大学で原稿を準備し、岩手、宮城、福

島各県の地方ラジオ局で放送してもらえないか交渉中である。放送料が発生する場合を、広報課で調査中である。

→現在交渉中だが、料金が発生する放送は実施していないということである。

- ・携帯でも情報を確認できるような形態を検討中である。
- ・教職員のメーリングリストは、3 キャンパスのシステムが復旧してからになる。

→本日、多賀城・泉両キャンパスのネットワーク、メールシステムは稼動している。

18 日に泉キャンパスの TV 会議システムを準備し、今後 3 キャンパスで会議を行えるようにする。

3. その他

- ・新年度の役職者交代について、当分の間は新旧の役職者が連携して業務にあたる。
- ・平成 23 年度 4 月の職員異動について、実際の異動は 6 月に行う。新規採用者は、4 月から各部署に配属させることとし、課長の指示に従うこととする。
- ・現在まで、安否確認システムはすべて受身になっており、集まりが遅いため、大学側（教職員）から問い合わせを行う必要がある。職員については特に情報が少ないため、数字を出す必要がある。
- ・学生の安否確認について、すでに集まっている 5,700 名分の情報と、現在確認中 4 ～5,000 通分の情報の照合を一両日中に行う。このデータは対策委員会で提供し、確認が取れていない学生については、大学側から問い合わせすることにした。
- ・現在、一時的に建物に入館させているが、二次災害防止のため、当面の間、入館を控えてもらいたい。

4. 今後の予定

- ・18 日 9 時から打ち合わせを行う。
- ・18 日は 9 時から 17 時まで、本部業務を行う。本部責任者は、午前は佐々木哲夫宗教部長が、午後は斎藤誠学務担当副学長が担当する。
- ・19 日から 21 日は、本部業務を行わない。ただし、宿泊している学生の対応は継続して行う。本部閉鎖中は、週明けに連絡してもらう旨の留守番メッセージを流す。
- ・22 日午前中の本部責任者は、柴田総務担当副学長が担当する。
- ・22 日 15 時から災害対策委員会会議を行う。
- ・23 日の本部責任者は、午前は、佐々木俊三学長室長が、午後は中川図書部長が担当する。
- ・火曜日以降の本部責任者体制は、週明け以降に検討する。
- ・本部閉鎖中は、出勤している各セクションの職員から、1 名代表者を決め、緊急の際は柴田先生に連絡を取る。まずは、残るメンバーがどこに相談するかを確立させたい。
- ・多賀城キャンパスは、19 日から 21 日の間も継続して本部業務を行う。この期間中に何かあった場合の対応は、多賀城キャンパスで判断する。